

警 察 署 協 議 会 会 議 録

小倉北警察署協議会

開催年月日時	令和 6年 8月 7日 午後 4時 00分 から 令和 6年 8月 7日 午後 5時 20分 まで	
開催場所	小倉北警察署 8階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下 12名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、地域管理官、交通管理官、刑事管理官、警備管理官、総務第一課長、総務第二課長
議 事 概 要		
【会長挨拶（要旨）】 7月からの猛暑が続き、熱中症や新型コロナウイルスの感染が非常に増えており、救急搬送される方が増えている。 発熱や脱水の症状だけでは、熱中症なのか、新型コロナウイルスの感染なのか判断が難しく、検査をすると半分が熱中症、残りの半分が新型コロナウイルスの感染者である。 最近の新型コロナウイルス感染者の症状は、喉の痛みや熱が出るというものであるが、無症状の人もある。 新型コロナウイルスは、若い人はほぼ重症化しないが、糖尿病や血圧が高い等既存の疾患を持っている人は重症化の危険性があり、既存の疾患を持っている人は、十分に気をつけて、手洗いやうがい等の予防対策を行っていただきたい。 まずは、健康で楽しくというのが一番良いと思うので、ストレスを発散しながら健康に過ごしていただきたい。 北九州市も暑いので、犯罪の発生も減っているのではないかと期待しながら、これから警察の報告を伺いたい。 今日も、この会議で色々な御意見、質問等をしていただき、皆さんで色々な会話をしていただきたいと思うので、よろしくお願いします。 【署長挨拶（要旨）】 本日で外で清掃活動を40分程したが、非常に暑かった。 新型コロナウイルスの感染は当署の職員にも出ているが、一番怖いのは、留置場での新型コロナウイルスの感染で、症状が軽いとはいえ感染者が出ると様々な支障が出るため感染予防に最新の注意を払っている。 暑いと犯罪が減るというエビデンスにはならないかもしれないが、最新の治安概況について報告する。 また、20年前と現在の小倉北区の治安概況について、警察の統計を用いながら市民の方々にお知らせすることによって、治安の改善と安全を実感してもらうことを計画しており、現在その準備中である。		

議 事 概 要

本日の協議会において、同概況について説明させていただくので、皆さんから色々な御意見を賜りたいので、本日はよろしくお願いします。

【新委員自己紹介】

【報告事項】

- 1 小倉北警察署の治安概況について（令和6年1月～6月）
 - (1) 小倉北警察署運営指針
工藤會の壊滅と「安全で安心なまち小倉北区」の実現
 - (2) 小倉北警察署活動重点
 - ① ニセ電話詐欺対策の強化
 - ② 暴力団の取締り等組織犯罪対策の強化
 - ③ 飲酒運転・交通事故抑止対策の強化
 - ④ 性暴力・児童虐待への的確な対処
 - ⑤ サイバー空間の脅威への的確な対処
 - ⑥ 重要凶悪事件の徹底検挙
 - ⑦ 災害・テロの脅威への的確な対処
- 2 「安全で安心なまち小倉北区」を実感していただくために
 - (1) 工藤會情勢
 - (2) 凶悪事件認知件数
 - (3) 暴行・傷害事件認知件数
 - (4) 飲酒運転事故・交通事故発生件数
 - (5) 性犯罪事件認知件数
 - (6) 「どのような警察活動が安全・安心を実感できるか」という記述式アンケート調査結果

【質疑応答】

- 委員より「色々な関係者の御努力で20年間でこれだけ犯罪が減ったのだと感じた。犯罪が減ったとはいえ警察官の仕事が減ったわけではなく、まだ検挙しなければならない事件や暑い中でより犯罪を減少させるために活動していると思う。アンケートの調査結果に『パトロールしているパトカーを見て安心した』とあったが、犯罪が減少した分の警察力をそういった活動により力を入れていただきたい。」旨の発言があった。
- 委員より「この20年で北九州市は非常に高齢化率が高くなった。高齢者の犯罪の特徴について教えてほしい。」旨の発言があり、刑事管理官から「高齢者の犯罪としては万引きが非常に多く、特徴としては同じ被疑者が寂しさを紛らわすために犯行を繰り返していることが多い。警察としては、防犯の観点から店員の声掛けや店員による巡回の強化等の対応をお願いしている。」旨の説明があった。

署長から「高齢者の万引きの増加の他に懸念されるのが認知症の高齢者の犯罪である。高齢者は寂しさを紛らわすためや何か社会と関わりたいということで罪を犯すことが多いようであり、今後動機等についても分析等出来れば報告したい。」旨の説明があった。

- 会長より「犯罪の減少には時代背景や北九州市の高齢化、人口減少、北九州市の経済状況等様々な要因があると思う。20年前と比べるとインターネット等の普及により、肉体を使って行う犯罪が減り、頭を使って行う犯罪が増えたように感じる。また、暴力団員の数が減ったことが犯罪の減少にも繋がったのではないかなと思う。」旨の発言があり、生活安全管理官から「SNSを通じ、投資名目で金銭を騙し取る詐欺が増えている。具体的には、投資に関心のある人が著名人の名前や写真を使った投資のサイトにアクセスをすると、SNSなどで直接連絡のやり取りを促されたり、投資の偽サイトに誘導されるなどして、金を騙し取られるというものである。その他、フィッシング詐欺というものがあり、ショートメッセージなどで実在する企業や銀行、宅配業者を騙ってメールが来るが、添付されたURLをクリックすると偽のサイトに繋がり、そこでクレジットカード情報や個人情報を入力するように仕向けられて情報を盗み取られ、クレジットカードの不正利用や不正送金の被害に遭うものである。こういった犯罪の被害に遭わないため、投資であれば『簡単な儲け話はない』と考え、フィッシング詐欺であれば、送られてくるメールのURLを簡単に開かないことが重要である。URLを開くだけでウイルスに感染するものもある。心配な場合は、実在する会社に問い合わせ確認する等して被害に遭わないようにしてほしい。詐欺グループは色々と手口を変えてくるので、皆さんにはこのような犯罪があるということを知っていただきたい。」旨の説明があった。
- 委員より、「3年前から北九州市に住んでいるが、北九州市に住むにあたり、周りの人からは『治安が悪いから気をつけて』等言われたが、実際に3年間住んでみて、危険を感じたことが無いので、治安は改善されており、安心して暮らせると実感している。最近気になったのは、夜間に近道のため住宅地を通った際に、明かりが少なく、暗くて怖いと感じたので、街灯が少なく暗い場所、人通りが少ない場所等をパトカーが巡回してくれれば安心すると思った。」旨の発言があり、署長から「夜間の住宅地等暗い場所へのパトカーの巡回について警察としてしっかりと対応していく。」旨の説明があった。
- 委員より「20年間の統計については数字で犯罪の減少が確認できてわかりやすく、実際に住んでいる人の体感治安も上がっていると思うが、それが北九州市以外に住んでいる人に伝わっていないと思う。先ほど『北九州市は治安が悪いと聞いていたが、実際住むと治安が悪いと感じない』等の意見があり、統計資料等に具体的な市民の声等を入れるともっと伝わりやすいのではないかなと感じた。」旨の発言があり、署長から「私も当署に着任後、企業等を挨拶で回った際に『転勤で北九州市に住む際に危ない街と聞いていたが、実際に住むと住みやすい』等の意見を聞くことが多々あった。それを聞いて、北九州市の犯罪を減らすだけで満足するのではなく、このことをもっと東京都や大阪府等の大都市にも発信していかなければならないと考えている。現在、北九州市の治安の改善がわかるように資料を作成しており、それを企業の東京都や大阪府等の本社や支社に送っていただこうと考え話を進めている。また、メディアに対しても情報発信を行っていき、北九州市の治安の改善が全国的に周知されるように努めていきたい。」旨の説明があった。